

## 日本明慧学校の夏合宿 有意義な体験

千葉県「鴨川青少年自然の家」で7月23日～26日までの3泊4日、法輪功学習者とその子供達29人は、明慧学校の夏合宿に参加した（注：明慧学校は、法輪功を学ぶことをメインとした親子サークル）。

夏合宿では、本を読み気功をするだけでなく、海水浴場で遊んだり、ストレッチしたり、夜の花火、交流会など内容が豊富で、子供達の楽しそうな声が響く中、保護者もこのような活動の良さを実感し、次回の合宿も楽しみにしていると語った。

### 有意義で満足のいく体験

法輪功を学んではいませんが、今回初めて明慧学校の活動に参加した母親は「どれも有意義なアクティビティでした。いつも子供達に携帯電話を見せないようにするのは頭の痛い問題で

すが、ここでは自然に解決できました。子供達のいろいろなスキルや社会性も養われ、とても満足のいくものでした」と語った。

10歳の少年は、普段家では両足で座禅するのを嫌がり、足が痛くなると足を崩していた。しかしこの合宿を通して初めて30分間、座禅することができた。合宿が大きな突破口となり、母親は、環境の大切さをつくづく感じたという。

活動に参加した2人の子供は法輪功を学んではいませんが、「とても嬉しかった」「みんなとても親切だった」「いい友達になれた」「また皆に会うのが楽しみ」「今度、東京で法輪功の子供達の活動に参加したい」と話した。また、9歳の女の子は漢字が読めなかったが、子供の法輪功学習者たちと一緒に「洪吟」の詩を学んだ。

### 修煉体験を分かち合う

12歳の女の子は交流で、学校での出来事で心性が向上した体験を語った。クラスメートの一人が嫌なことを言ってきたため、女の子は友達と一緒にそのクラスメートと距離を置き、文句を言っていた。相手を傷つけ、さらにその子の両親までも心配させてしまった。

数日後のある日、廊下を歩いていたところ、突然走ってぶつかってきた子に吹き飛ばされ、腕を強く打ち腫れ上がった。頭がテーブルにぶつからなかったことは不幸中の幸いだった。女の子は、「吹き飛ばされた時にまず思ったのは、自分がクラスメートを傷つけて、業を作ってしまったので、今日はバチが当たった（報いを受けた）ということでした。この教



■気功をする子供達

訓があってからは、クラスメートに優しくして、たとえ相手に非があったとしても傷つけないように気を付けます」と話した。

### 施設スタッフから感謝

合宿中、施設のエアコンが突然故障した。一部の部屋が非常に暑くなったが、法輪功学習者たちは常に理解ある態度で、不満や苦情を一切言わなかった。

そのため、施設のスタッフが感謝した。

スタッフ達に法輪功のチラシを手渡し、「私たちは普段、子供達を連れて法輪功を学び、心身を鍛えています。そして、伝統的な『真・善・忍』の理念に従って、人としての道理を教えています」と紹介した。スタッフは、このチラシを必ず皆に見せると話した。

## 三重県の大四日市まつり 法輪功チームが参加

中部地区の法輪功学習者（以下、学習者）は8月5日と6日、三重県で開催された第60回大四日市まつりに参加した。ステージで腰太鼓と法輪功の五式の動作を披露し、好評を博した。

大四日市まつりは300年の歴史があり、パレードや各種の踊りのほか、古くから伝わる郷土の文化財と伝統芸能の演目が行われる。1964年に名称が変更され、今年で60回目を迎えることから「還暦まつり」とも呼ばれる。約25万人が訪れた。

### 腰太鼓が人気

2015年に同まつりで法輪功を紹介して以来、毎年主催者から招待を受けている。

パレードが始まり、腰太鼓チームが登場した瞬間、快活なリズムと太鼓の音色に、観客から次々と拍手が沸き起こった。実行委員会は「中国の伝統楽器である腰太鼓は、

1000年近い歴史があります。腰太鼓は、正義、公平、威厳、ポジティブなエネルギーを表していますが、さらに、彼らの演奏は真・善・忍の力に満ちています。腰太鼓の演

奏は観客に光、勇気と力を与えます」と紹介した。

### 観客に好評

ある観客は「日本文化とは違う雰囲気を感じてよ

かった。エネルギーに満ち溢れている感じがした」と語った。

法輪功の五式の動作を実演した学習者は「法輪功は法輪大法とも呼ばれ、心身とも健康になる修煉法です。法輪功の動作はシンプルで学びやすく、特にコロナの中でお役に立てればと思います」と紹介し、動きの要点を説明した。

学習者の煉功の動作は揃ってゆったりとしており、舞台は賑やかな繁華地区だったが、観客は喧騒の中に静けさを感じた。一部の観客は動作を真似て煉っており、写真を撮る人や、資料を受け取り帰ってから詳しく読む人という人もいた。



■パレードに参加する腰太鼓チーム

## ワシントンD.C.でキャンドル追悼会

米国ワシントンD.C.では7月20日の夜、1500人以上の法輪功学習者（以下、学習者）が国会議事堂とワシントン記念塔の間にある国立芝生広場に集まった。

そして、中国共産党（以下、中共）に迫害され死亡した学習者に哀悼の念を寄せ、小さなロウソクを手にして迫害の停止を求めるキャンドル追悼会を行った。

### 迫害された学習者の証言

山東省の学習者・夏徳雲さんもキャンドル追悼会に参加した一人。夏さんは以前、中国で法輪功の9日間セミナーに

参加したことがある。夏さんは、法輪功を修煉して心身ともに健康になり、家族も幸せになり、真・善・忍への信念がより一層深まった。

しかし、1999年に中共による弾圧が始まって以来、夏さんは何度も洗脳センターに送られ、拘束され、労働教養を強いられた。迫害に抗議するために断食をすると、無理やりに灌食されたという。山東省の王村労働教養所では、迫害に反対するため、囚人服を着ることを拒否し、刑務所の規則を暗記せず、強制労働も拒否したため、厳しい監視を受け、小さい椅子に長時間座

らされた。その結果、夏さんは臀部に潰瘍ができ、心身に大きなダメージを受けた。そして病院に運ばれたときには、血圧が何回もゼロになっていた。現地の610弁公室（法輪功迫害の実行機関）は責任を恐れ、家族に夏さんを連れて帰らせた。

### 住民のコメント

国立芝生広場の近くに住むモロッコ出身の電気通信技師であるナクレさんは、追悼会の趣旨を聞くと、「中共の卑劣さは、よく知っています。欧米の国々がそれを見抜けず、目先のことしか見えず、今まで



（中共の）共犯者のような振る舞いをしていただのは非常に残念です」と話した。また、24年間も迫害に反対し続けていることを知ったナクレさんは、自身が観た神韻公演を思い出し、「正

しい信念は、人を強靱にして強大にすることができます。私は全力で祈ります！ 中共は癌細胞であり、果てしなく食欲で、専制的で、やがて自滅するでしょう」と語った。

## 広島・福岡でポスター展 「中共の生体臓器収奪を制止」



中国共産党（以下、中共）による生体臓器収奪を制止する国際受賞作品のポスター展が7月25日から8月6日まで、東広島市立美術館と広島市西区民文化センターで開催された。（主催：中国における臓器移植を考える会[SMGネットワーク]）。

展示された30点の作品は、世界70カ国の計1049点の応募の中から選ばれた入賞作品である。作品は、中共による卑劣な臓器移植産業をさまざまな芸術的手法や形式を通して暴いている。

開会式には複数の議員が出席し、中共による生体臓器収奪を制止することを願い、スピーチした。

### 議員らが中共による生体臓器狩りを非難

開会式では、主催した「SMGネットワーク」の全国地方議員の会 副代表世話

人の石橋林太郎衆議院議員が挨拶をした。「このポスター展は、中共が現在進行形でやっていると言われる強制臓器収奪を阻止するためのものです。法輪功やウイグル、チベット、中共が自分たちの都合の悪い人たちを一方向的に囚人、犯罪者として扱い、臓器を摘出して多くの臓器移植の手術用の道具として使っていると言われています」

広島県議会の竹原哲議員は、「この作品を観て心がとても重くなり、責任の重さを実感しました。自分たちの責任を感じる機会だと思います」と述べた。

東広島市議会の山田まなぶ議員は、「善良な一般市民が突然ラベルをつけられて臓器を取られてしまうなんて、信じられませんね。これは殺人行為です。少しでも多くの方が知ることが大切ではないかと思えます」と述べた。

### ポスター展を見て意識が変わった

広島市でポスター展を見た60代の女性は、「6年前、主人が主治医から臓器移植の手術を勧められました。一週間以内の手術を希望するなら2000万円、半年後なら600万円と言われました。海外に行く必要はなく、日本国内の病院で手術ができるのでしたが、主人と相談すると、他人の臓器で延命したくない主人に『そこまでしないでいい』と言われ、移植はしませんでした。今の今まで、提供者という人がいてなりたっているという事は、正直なところ考えませんでした。今日の作品の数々を見て、主人には申し訳なかったけど、移植しなくて良かったと思いました」と語った。

### ダメなものはダメとみんな言うべき

福岡では7月11日から17日まで、福岡市健康づくりサポートセンターで開催された。地元のコミュニティラジオのパーソナリティである川井正彦氏は、司会の番組でポスター展を紹介した。「臓器を奪って、それを商売するって、中国は絶対やっちゃいけないと思います。人の心というのをもう1回考え直して、ダメなものはダメとみんな言うべきとおかないとまずいじゃないか、とつくづく思われました」

## スペイン南部の都市で法輪功を紹介

スペインの法輪功学習者は7月29日、カルタヘナ市中心部のサン・セバスティアン広場で、法輪功を地元の人々や観光客に紹介した。

市中心部のサン・セバスティアン広場では、法輪功を伝えるブースを設けた。学習者は法輪功の功法を実演し、リーフレットを配った。一部の人はその場で功法を学び、地元の煉功場の詳しい情報を尋ねた。

法輪功のブースに来た3人の若者は、展示パネルとリーフレットを見て、法輪功が心身の健康に大きな効果があることを知り、非常に興味を持った。そして、すぐに法輪功の功法を学び、真剣に煉功し始めた。彼らは、煉功をしているとき、とても強いエネルギーを感じたという。

またブースでは、中国共産党（中共）が中国国内で法輪功に対して行っている、生体臓器収奪などの恐るべき犯罪について伝えた。

地元に住むドミンゴさんは、ベネズエラなどラテンアメリカ諸国における共産主義の弊害は知っていたが、中共がこれほど邪悪だとは知らなかったと語り、衝撃と憤りを覚え、迫害の停止を求める署名に迷わず署名した。

ホセさんは署名した後、「中共とビジネスをして経済的利益を得ている国がある中で、中共は人々の基本的権利を奪い、信仰を迫害し、人権を侵害している。もし私たちが止めなければ、中共はさらにやりたい放題になる」と言った。



■広場のブースで法輪功を紹介

## つらく苦しい思いをしている人に伝えたい

私が法輪大法に出会ったのは、20年前でした。なぜ、今も法輪功の学習者であり続けているのか、私自身も不思議です。今、大きな人生の転機の始まりを振り返ってみたいと思います。

### 体の不調から法輪功を試してみた

2002年の秋のある朝、体中が痛くて目が覚めた私は、トイレに行こうとしましたが、痛みのため、体を動かすことが出来ず、寝返りも出来ませんでした。かかりつけの医院に往診をお願いし、痛み止めを処方されました。

しかし、良く効く薬は体にとっては危険で、医師に漢方医を紹介されました。

半月ほどたって、漢方の先生が「私たちは、早朝、煉功（気功の功法のこと）をしています。何人もの患者さんが、煉功をして元気になりました。一

度見に来ませんか？」と言われました。

当時、夫が入退院を繰り返して、病院を転々としておりました。私は何としても回復しなければならなかったので、参加してみました。

動作はわかりやすいのですが、1時間続けることは大変でした。しかし、言われる通り、とにかく限界まで試してみようと思いました。

ある人が、毎食後に25錠ずつ薬を飲んで一向に改善しなかったのに、煉功を続けるうちに薬を飲むのをやめ、健康も回復したと聞いて、私も薬をやめました。薬を飲まなくなったのに、体中の痛みがなくなったのです。

### 夫との因縁関係を理解して気持ちは穏やかに

私の至らなさのため、結婚以来、自分の意見もやろうとしたことも、ことごとく夫に否定さ

■村上さん（ご本人）



れました。ただ、息をしているだけの結婚生活が続きましたが、3人の子供のために、死ぬわけにはいかなかったのです。

夫の死後、法輪功の勉強会に参加するようになりました。人は輪廻を繰り返すもので、前世で良いことをしたら、必ず、次の世で償いをしなければならぬというこ

とを知りました。私は、きっと前世で夫にひどいことをしたのでしょう。自分にできる償いが出来て良かったと思いました。そう思えたときに、私の気持ちは、とても穏やかになったのです。もし、今、辛くて苦しい思いをしている人がいれば、逃げないで、それに耐えてみてください。

きっと将来、良い応報を得ることが出来ます。

### 自分が変われば周囲も変わる

私は、ずっと自分が間違っただけではない、どこに出ても恥ずかしいことはしていないと、自分のことだけを考えていたのです。しかし『轉法輪』という法輪功の本には、まず、人のことを考え、自分のことを後にするようという教えがあります。

まず周りの人の立場になって考え、自分に対する相手の態度が悪い時は、それと同じことを自分がしているのではないかと反省し、自分自身を改めれば、必ず、状況は良くなると思います。

法輪功からずっと離れなかったことは、とても良かったと思います。なぜなら、感情の起伏が激しかった私は、激昂することもなくなり、一度も風邪さえひくこともなく、歯科の検診以外に病院に行ったこともありません。

## 微笑みに隠された不思議な力



■受賞した董徳陵さん（左端の女性）

董徳陵さんは、台湾雲林県国立小学校の代理教師です。董さんの『微笑みに隠された不思議な力』という文章は、台湾女性がトラブルを解決する名案の募集に応じたものでしたが、そこで見事に優勝しました。

いったいどんな不思議な力が董さんに微笑をもたらし、前向きにさせたのでしょうか。

### 思わぬ新婚生活

私（董さん）は、同僚からも認められている「いい

男」と結婚しました。しかし新婚早々、自分が夫と元カノの間の第三者になってしまった現実に直面しました。夫の元カノは子宮摘出手術を受けたため、夫の家族に結婚することを固く反対されまし

た。その後、夫は両親の強い希望で私と結婚したのでした。

結婚の危機に直面した私は、最初は泣きあかし、その後は暴れ、最後には自殺未遂までして夫婦関係を解決しようと思いました。そのあげく、夫には嫌われ、かえって遠ざけられてしまいました。

### 「忍」を覚える

自殺を決めた私は、最後に母親に会おうと実家に帰ったのですが、母親から

李洪志先生の著作『轉法輪』を渡されました。

まだ数ページしか読んでいないうちから、一言一言が私の心にスーッと入り、人々がよく言う因縁関係について新しい理解を得ました。「どうしてこういうことにおつかるのでしょうか？それらはみな自分自身の業力によるものです」と『轉法輪』に書かれていました。もしかすると私の前世で、あるいはいつの世かで夫を裏切ったことがあり、今世のこの魔難に遭ったのかもしれないと思うようになりました。

そう考えた私は、「忍耐」することを覚えました。もちろん言うのは簡単ですが、遅く帰って来る夫の姿を見る度に、また優しく誰かに電話する夫の声を聴く度に、私は電話の向こうにいるもう1人の女性の存在とその期待をはっきり感じられるので、辛くてたまりませんでした。それでも私は忍耐することを選び

ました。苦しみをなめる中で、業力を取り除くことを選択したのです。

### 「善」を持ってすべての物事に対応

『轉法輪』に「情から抜け出すことができれば、誰もあなたを動揺させることができず、常人の心があなたを動かすことは不可能となります。それに取って代わるものは慈悲の心であり、より高尚なものです」と書かれています。

私は客観的な立場から、愛し合いながらも夫婦になれなかった夫と元恋人の苦悩と無念さを理解し、同情するようになり「あなた達2人のためなら、自分が身を引きます」と申し出ました。3人とも苦しむよりも、私1人が犠牲になった方がましだと思いました。自分のことより人のことを先に考えられるようになりました。

### 「真」の心で人のために尽くす

ある日の夜、夫は私と率直な会話をしました。当初、もし私の忍耐がなかったら、夫は離婚協議書にサインをしていたかもしれません。真心で

夫に尽くし、夫を理解し、そしてどんなことにも夫を包容した私のことを考え、夫も段々と真実が見え、その真実を認めるようになったと言いました。

最後に夫は私の両手を握って「あなたを傷つけてしまい、本当にすまなかった」と詫言われました。

### 危機を乗り越えた名案

董さんは「どんな時でも人のことを優先に考えることは、危機を回避し、新たな転機を掴む知恵です。それは『轉法輪』という本を学び続けた私の微笑みに隠された不思議な力です」と語っています。



## 専門チームの調査結果、病気治療の有効率97.9%

1992年5月13日、法輪功（法輪大法とも呼ばれる）の創始者・李洪志氏は中国の長春市で心身を鍛える精神修養法を伝えた。

その「真・善・忍」の教えは人々の道徳の向上を導き、五式の動作は健康回復に顕著な効果があると口コミで広がった。そして大多数の法輪功学

習者（以下、学習者）は短期間で病気が良くなり、体が軽い状態を取り戻すことができた。

以下では、広東省の12,553人の学習者を対象として、医師や医学教授等の専門家で構成されたチームによって1998年9月に実施された調査結果を紹介する。

### 有効率が97.9%

調査対象は、男性が27.9%、女性が72.1%。50歳未満が48.4%、50歳以上は51.6%。一種類以上の疾病を患っていた学習者は10,475人で、2~3カ月から2~3年という期間を経て、全治および基本的に回復したのは77.5%だった。症状が好転した20.4%を加えると、健康回復の有効率は97.9%に至る。

7,170人の学習者が1年間に節約できた医療費は、合わせて1,265万元（約2.5億円、1998年の都市部労働者の平均賃金は約15万円）。89.4%の学習者は法輪大法を通じて精神状態が落ち着き、道徳が向上したという。徹底的な自我の抑制と向上も見られた。

### 多くの人が実感した不可思議な現象

### 一、驚異的な改善のスピードと効果

多くの学習者は、法輪功を学んで心身ともに改善した。しかもそのスピードと効果は驚異的であった。李先生の講義を聞いてから、あるいは自宅で法輪大法の書籍を読んでから3~5日以内に病気の症状が消え、全身が軽くなった者もいた。大多数は数カ月あるいは1~2年以内に病気の症状が完全に消えたか、好転した。調査対象の12,553人のうち、98%は数年以内に病気治療と健康保持の効果が現れた。一方で、2%の学習者が表面的に効果がないと回答した（ただしその中には、煉功を始める前にもともと元気だった学習者も含まれる）。

### 二、現代医学の奇跡

多くの学習者は、「薬土瓶」（常に薬を飲む人のこと）か、

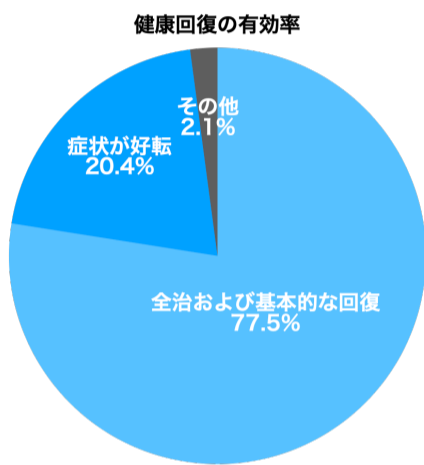
あるいは病院の常連だった。煉功を始めてから間もなく、薬を飲むことも注射もしなかったが、病気が悪化したり、再発したりせず、かえって身体状況はますます良くなった。

### 三、不治の病も回復

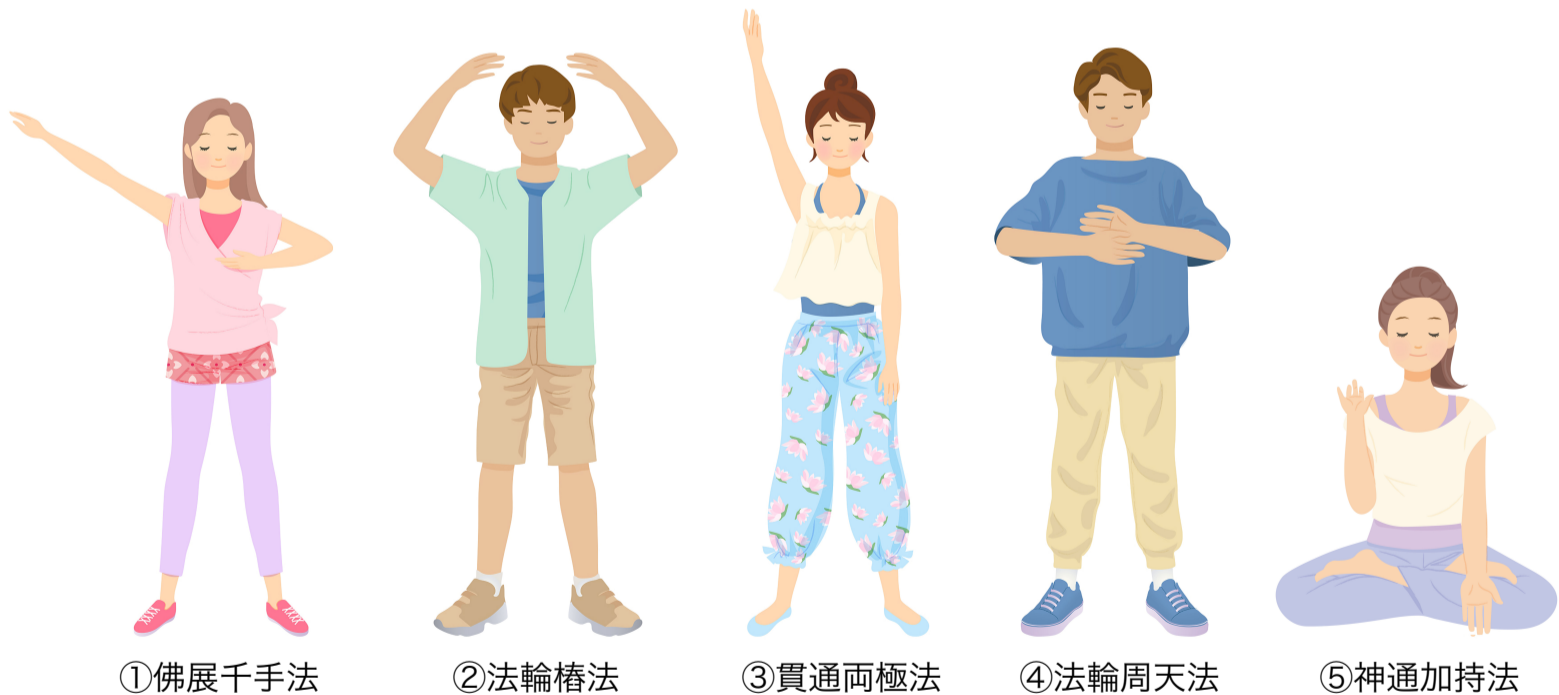
学習者の一部は医学的に頑固な病気、不治の病、あるいは診断できない病気を患っていた。しかし法輪功を通じて、奇跡的に回復した。

### 四、若返り

病症が消えただけでなく、体が若い方向へ戻る現象が現れた。年配の学習者の皺が少なくなり、髪の毛が黒くなり、顔色に赤みが差したり、皮膚に張りが出てつるつるになる現象が現れた。特に解釈できないのは、多くの年配女性に生理が戻ったことだった。



## 心と体を鍛える法輪功 5セットのエクササイズ



### 『法輪功』（ファールンゴン）

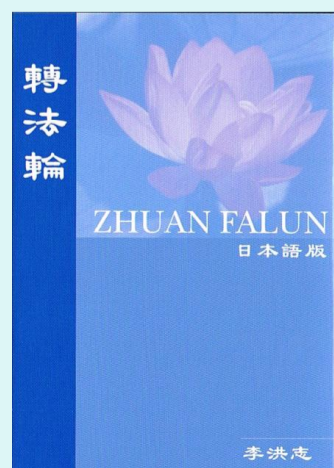
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



### 『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

## 2023年上半期 702人の不当判決が判明

明慧ネットの統計によると、2023年上半期に判明したところでは、少なくとも702人の法輪功学習者（以下、学習者）が不当判決を宣告された。

そのうち、2023年は356人、2022年は189人、2021年は51人、2020年は24人、2019年は21人、2018年は23人、2017年は19人、2016年は14人、2015年は4人、2014年は1人。

不当判決を受けた学習者は中国本土の27の省、自治区、直轄市に分布している。中には国家公務員、大学教授、教師、高級エンジニア、会計士、デザイナー、画家、医者、企業家、ラジオの司会者、税務

局の局長など、各業界のエリートが含まれている。

※情報収集期間：2023年1月1日から同年6月30日、以前の未発表データを含む。

### 山西省の侯利軍さんは懲役10年

太原市の学習者・侯利軍さんは、4月25日に不当に身柄を拘束され、5月12日に懲役10年の判決を宣告された。万柏林区裁判所は開廷せず、判決書には日付、傍聴者、必要な法律上の手続きもなかった。侯さんは判



■拷問のイメージ図：電気ショック

決を不服として控訴したが、市中級裁判所に原審維持を宣告された。

アメリカ在住の人権弁護士・呉紹平さんは「中共の迫害は事実と証拠を無視して、政治的立場しか見ていません。あなたが法輪功をやれば、罪になります。政治迫害であることの動かぬ証拠です」と指摘した。

侯さんは今、迫害で体が衰弱し、立つこともままならない。その状態でも30～40分間立たせる罰を受けた。髪の毛が真っ白になり、体重は25キロ以上減った。

### 北京の顧秀英さんに懲役2年

北京西城区の顧秀英さん（88歳女性）は明慧カレンダーを配布したとの理由で警官に不当に身柄を拘束され、懲役2年、刑務所外執行の判決を宣告された。

### 大学教師の陳平さんに懲役2年

四川省南充市の順慶区裁判所は3月17日、現地の西華師範大学の女性教師で学習者・陳平さ

んに懲役2年の実刑判決を不当に宣告した。

家族は陳さんとの面会を申し出たが、中共当局に拒否され、「弁護士を雇ったら弁護士と共に逮捕するぞ」と脅された。

かつて2020年7月26日、陳さんは人々に法輪功迫害の実態を伝えていた際、中共による法輪功への誹謗中傷を信じる中学生2人に通報され、その後駆けつけてきた警官らに連行された。陳さんは派出所で束縛衣を着せられ、食事を与えられず、凍えさせるなどの拷問を受けた。翌日夜に帰宅できたが、居住監視の処罰を課された。

半年後、警官らは陳さんの書類を検察庁に提出した。17カ月後、書類は裁判所に回付された。

## 80代の法輪功学習者が不当判決、監禁、死亡

### 不当判決を宣告される

江蘇省常州市の法輪功学習者・陳仁林さん（88）は、法輪功迫害の実態を人に伝えたとして、2019年8月に警官に身柄を拘束された。2022年1月初めの情報によると、陳さんは懲役7年の実刑判決を宣告されたという。

陳さんはかつて鉄道局のエンジニアであった。中国共産党（以下、中共）による法輪功への迫害が始まると、法輪功の無実を伝える資料を自作した。

2019年8月25日午前、陳さんは警官に身柄を拘束され、家宅捜索を受けた。そして自宅にあった法輪功の書籍、パ

ソコン2台、プリンター4台およびさまざまな資料も同時に押収された。その後、常州市天寧区の国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）、地元検察庁、裁判所は法律の定める秩序を損なった罪として、陳さんに懲役7年、罰金4万元（約80万円）の不当判決を宣告した。

### 刑務所に監禁、再び不当判決

遼寧省瀋陽市の法輪功学習者・梁淑智さん（86歳女性）は3月27日、市遼中裁判所に懲役3年、罰金2万元（約40万円）の判決を宣告された。市第一留置場は、健康問題で梁さんの入所を断ったが、裁判

所側は梁さんを刑務所に送ることを企んでいるという。

梁さんは法輪功を学ぶ前、病院から上咽頭癌と診断された。梁さん自身は医療従事者でありながら、よい治療法が見つからず、早期退職するしかできなかった。しかし1996年に法輪功を学んだ後、梁さんの病気は完治した。

自ら法輪功の素晴らしさを体験した梁さんは、より多くの方が法輪功の恩恵を受けられるようにと思い、人々に法輪功を紹介した。

2002年、65歳の梁さんは法輪功迫害の真相が書かれた紙を貼ったとして警官に連行され、懲役3年を宣告され、遼

寧省女子刑務所に収容された。

2021年6月8日、警官が梁さんの家に押し入り、梁さんを連行し、パソコン、プリンター、法輪功の関連書籍などの私物を押収した。その後、家族の強い要求で梁さんは保釈され、家に戻った。しかし、警官は梁さんの案件を遼中区検察庁に送致した。

2023年2月8日、瀋陽遼中裁判所は86歳の梁さんに対して裁判を行った。

### 釈放直前に刑務所で死亡

雲南省昆明市の法輪功学習者・李培高さんは1月、4年間

の冤罪を終えて釈放される予定だったが、同省第一刑務所で1月4日に突然亡くなった。享年86歳。

以前、同所に収容されていた人の話によると、李さんの健康状態は常に良好であり、突然の訃報に驚き、疑問を感じたという。

李さんは、元雲南省建設工程グループ設置有限公司のエンジニアであり、1994年に退職した。

李さんは生前、何度も連行され、家宅捜索や洗脳迫害を受け、二度にわたって不当な判決を言い渡され、雲南省の第一刑務所に拘禁されていた。

## 黒竜江省の趙慶平さん 不当に懲役6年

黒竜江省五常（ごじょう）市の法輪功学習者・趙慶平さん（52歳女性）は、2023年4月中旬、ハルビン市阿城区裁判所に懲役6年、罰金2万元（約40万円）の不当判決を言い渡された。6月28日、趙さんは黒竜江女子刑務所に連行された。

### 趙さんの姑を尾行

趙さんは、ハルビン華雨製菓集团有限公司の元従業員であり、五常市沖河鎮永豊村民富屯に在住。1997年に法輪功

を学び始めた趙さんは「真・善・忍」の教えに従ってより良い人になり、心身ともに恩恵を受けていた。

趙さんの姑が、五常市の路上で法輪功を紹介する資料を配布していたところ、同市公安局小山子派出所の警官に目撃され、尾行された。趙さんの姑は普段、嫁の趙さんと同居しておらず、姑の居住地は崇仁派出所の管轄下にある。小山子派出所の警官が崇仁派出所の警官に知らせ、姑を尾行するよう要請した。

### 趙さんを刑事拘留

2022年7月19日夜8時過ぎ、崇仁派出所の警官が、趙さんの姑を連行しようとしたところ、嫁・趙さんの家で姑を発見した。趙さんの居住地は啓智派出所の管轄下であり、崇仁派出所の趙強所長は啓智派出所の警官と共に趙さんの家に押し入り、姑と嫁を連行した。警官は法輪功の書籍、デスクトップパソコン、ノートパソコン、プリンター、プレーヤー、USBメモリ、携帯

電話、現金などの私物を押収した。

翌朝、姑は解放されたが、趙さんは刑事拘留された後、ハルビン市第二留置場に連行され、監禁・迫害された。

趙さんが拘留された後、家族は弁護士を依頼し、2022年8月下旬、ハルビン市第二留置場で趙さんと面会した。

### 趙さんの裁判

2023年3月13日、趙さんはハルビン阿城区裁判所で裁判

にかけられた。弁護士は、法輪功の修煉は中国では合法であること、法輪功の書籍と印刷物も合法であること、警察が不当に押収したものはすべて合法的で個人的なものであることを指摘し、理路整然とした弁護を行い、趙さんの無罪を要求した。裁判所はその場では判決を下さなかった。

2023年4月中旬、ハルビン市阿城区裁判所に不当判決を宣告された趙さんは、ハルビン市地方裁判所に控訴したが、原判決維持となった。

## 反迫害24周年 欧米の政界から声援

2023年7月20日は、法輪功学習者（以下、学習者）が平和かつ理性的に迫害に反対して24周年を迎える。

アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スイス、イタリア、ベルギー、フィンランド、オランダ、アイルランドなどの政治家は、法輪功への声援を表明し、中国共産党（中共）の迫害を非難し、法輪功への迫害の停止を求めた。

### 米国の政治家が中共の迫害を非難

7月20日にワシントンD.C.で開催された集会に対して、米国務省および米両院議員は声明文、ビデオメッセージ、書簡、褒賞の公布などを通じて、法輪功を声援することを表明した。

米国務省のマシュー・ミラー報道官はSNSで、「今日、我々は、中華人民共和国（中共）が国内外で、法輪功に対して弾圧キャンペーンを開始してから24年を迎えた事を認識しています。我々はこれらのコミュニティと連帯します」と述べた。

また、「中国問題に関する連邦議会・行政府委員会（CECC）」は、中国による「最も恐ろしい人



■迫害停止を求め、法輪功への声援を表明した米国の国会議員

権侵害」を非難し、拘束されている学習者を無条件で釈放するよう求めた。

### 「米国は行動を取っている」

政府系機関である「米国国際信教の自由委員会（USCIRF）」のエブraham・クーパー委員長は、拘束と迫害を懸念し、米国もこれに対して行動を取っていると強調し、米国司法省とFBIが行動を起こしていることを嬉しく思うと語った。

クーパー氏は中国の宗教弾圧が海外に広がっていると指摘し、多国間アプローチを取り続け、中国当局や信教の自由を深刻に侵害する団体に対する的を絞った制裁を行うため、あらゆる手段を用いなければならないと述べた。そして、学習者の中国における信教の自由を擁護する勇気を称賛し、法輪功の人々が解放される日を楽しみにしていると述べた。

### 「カナダ政府に行動をとるよう求める」

カナダの国会議員であるマイケル・クーパー氏は7月19日の独占インタビューで、次のように述べた。

「私たちは皆さんの声を聞いており、何が起きているのかも知っており、世界もこのことを知っています。正義は広げなければならず、これらの深刻な人権侵害の加害者は責任を負わなければなりません。24年間、法輪功の皆さんが受けた拷問、法規外での殺人、生体臓器収奪など、これらはすべて中共政権が犯した

最もひどい人権侵害の一つです」

「国会議員として、私は今後も人権侵害に対する非難を強め、カナダ政府に対し、本政権による制裁の発動を含む行動をとるよう求めています」とクーパー議員は述べた。

### 「私たちは傍観することはできない」

ドイツのミュンヘンで7月15日、集会が開催された。ドイツの国会議員、州議会議員およびその他の政治家12人が学習者に書簡を送り、迫害参加者の責任を追及するよう求めた。

ドイツ連邦議会議員のギュンター・クリングス博士は、書簡で、「これほど多くの人々の生活に悪影響が及び、家族が引き裂かれていると聞いて、私たちは傍観することはできません」と述べた。

イギリスの国会議員ルパ・フック氏は、「私たちは決して傍観せず、重大な人権侵害を容認しないという明確なメッセージを持ち続け、英国政府に働きかけます」と書簡の中で述べた。

## アジア太平洋の各界が反迫害を支持

反迫害24周年の活動に際し、オーストラリア、ニュージーランド、日本、台湾、イスラエルの各界の人々が中国共産党（中共）を非難し、法輪功を声援した。

### 「法輪功迫害はジェノサイド」

シドニーのマーティン広場で7月14日、集会が開催された。

オーストラリアのニューサウスウェールズ

州パラマッタ市元市長アンドリュー・ウィルソン氏は集会で、「皆さんの平和的な阻止活動こそ私が尊敬する大きな理由です。中共の非人道的行為に影響されないようにしてください。真・善・忍の理念を堅持すれば、勝者はあなた達であり、中国は自由を獲得することができます」と述べた。

オーストラリア伝統的価値観・家族と祖国を守



■アンドリュー・ウィルソン氏

る同盟会長のポール・フォーリー氏は、集会で次のように述べた。「中共による法輪功への迫害は『ジェノサイド』です。1999年から『生体臓器収奪』は、中国で産業規模で続いています。人々によく知られていることです」

「私たちはここで、目撃者としてあなた達を支持します。あなた達は孤独ではなく私たちも一緒にいます。中国が自由な国になって、中国の人たちは自由な人と同じように生活することができるようになるでしょう」

### 「誰もが知っている」

ニュージーランドでは7月15日、オークランドのニューマーケット・ビジネスセンターで集会が開催され、各界の人々が応援に駆け付けた。

公民自由委員会のバリー・ウィルソン委員長は集会のスピーチで、次のように述べた。「私は法輪功の皆さんを尊敬しています。私たちは中国で恐ろしいことが起きていることを知っており、法輪

功は最も活動的な（反迫害）グループの一つです。中共は生体臓器収奪について嘘を言っていますが、この悪事が続いていることを誰もが知っています。だからこそ、法輪功学習者が迫害の実態を暴露し続けることは非常に重要であり、皆さんは私たちの大いなる称賛に値します」

「真・善・忍はとても素晴らしい理念であり、法輪功は平和と健康的なライフスタイルを促進する功法です。これは中共が追求する理念に相反しているため、中共は脅威とみなしています」

日本では元衆議院議員の長尾敬氏が7月15日、大阪の愛染公園で行われた学習者の反迫害集会に駆け付け声援を送った。

長尾氏は、中国での臓器収奪の事実が明らかになった際、国会議員として断固として反対を表明した。同氏は、「もし世界のすべての人々に、中共による人権弾圧の残酷さと人権侵害を認識させることができれば、私は人々が必ず理解してくれると信じています。そ



■クモシ・ラズ氏

れが暗い闇の中に一寸の光となって、私たちと共に中共の人権弾圧を阻止することができます」と語った。

### 「自由を保障すべき」

イスラエルの学習者は7月20日、テルアビブの中国大使館前で集会を開催した。

イスラエルのクモシ・ラズ元国会議員は書簡の中で、「中国（中共）政府は生体臓器収奪を停止し、法輪功への迫害を止め、すべての政治犯を釈放し、彼らの自由を保障しなければならない」と述べた。

## 【神伝文化】異なる境地における損失と収穫

孔蔑（こうべつ）は孔子の甥で、宓子賤（ふくしせん）は孔子の学生です。2人とも県知事になりました。

### 三つの損失

ある日、孔子が孔蔑のもとを訪れました。春の農繁期でしたが、田畑が荒れていて、民が憂いた表情でそばに立っているのを見て「どうして耕作しないのですか？」と尋ねました。民は税金未納のために作業不許可の処分を受けたと答えました。孔子はそれを聞いてとても憂いました。

孔子が孔蔑に「おまえが出仕してから、収穫したことは何か？ また損失したことは何か？」と聞きました。孔蔑は「収穫は何もありませんでしたが、損失は三つありました。政務が忙

しくて勉強する時間どころか、一日中憂いごとばかりです。それで勉強して悟ることができません。これが一つ目です。俸禄が少なく親戚等の面倒をみることもできず、親戚や友人と疎遠になりました。これが二つ目です。最後に、公務が急迫して礼儀に則ることができず、病人を見舞う時間もないため、他人に理解されないことが三つ目です」と答えました。

### 三つの収穫

孔子は「役人は『仁愛』の思想から、明德で罰には慎むと聞いた。政令で導き、刑罰で縛れば、民衆はどのように刑罰を免れるかを考えるばかりで、それが恥ずべきことかどうかは考えない。徳行で教化し、

礼儀で律すれば、民衆は法を守り、恥を知るだけでなく、道理が分かって善に向かうことができる。そうすると罰せられることもなくなるのだ。思想の導きが正しいことで、皆の理解と支持を得ることができる」と説きました。

孔子は宓子賤のもとを訪れました。その地の物は豊富で県民は豊かで、人々は正直で礼儀正しいのを見て「出仕してからの成果と損失は？」と聞きました。宓子賤は「損失はなく、三つの収穫がありました。煩雑な公務をこなす中でも聖賢の説く道理を導きとし、真理を実践する機会を得たことが一つ。少ない俸禄でも親戚等に分け与えることで、親戚や友人との関係が

深まったことが二つ目。三つ目は、公事が切迫している中でも礼儀を守ることを忘れず、時間を割いて病人を見舞いに行くことで、皆の支持を得たこと」と答えました。

### 宓子賤の「仁政教化」

二人が話をしていると、町から音楽や詩の音が聞こえてきました。孔子は宓子賤に「礼楽を教化しているのか？ だからこちらの県民は穏やかなのかね」と聞きました。宓子賤は「先生は『君子は道理を学んだら他人を愛護すべき』と説かれました。私は父親に対する礼儀で老人に接し、貧しい人々を助け、賢者を招き、私より才能のある賢者に謙遜に治める方法を聞き

ます」と答えました。孔子は「君は本当に君子だ。仁徳をもって人を従わせ、礼楽をもって世を治めており、やり方は立派だ。堯・舜の後を継いだとも言えるし、天下を治めることすらできる」と大いに感心して褒めました。

宓子賤は「仁政教化」の名人とされ、生涯儒家の「礼楽」思想と「匡時濟世」の理念を実践し、道徳で人々の心を正し「琴を鳴らして治す」と歴史に残されました。

人は世の中で、逆境に直面しても仁愛をもって真理を実践することができるか、それとも個人のものに執着するのかを問われます。これは人間の思想的境地の問題です。人生の境地が違うからこそ、人との接し方や考え方、行動方式に違いが生じ、最終的に結果が違ってくるのです。すべてに善をもって、自分を正して他人に影響を与え、上は天の道理に合って、下は民心に応じてこそ、初めて前途がますます明るくなるのです。

## 誠実な晏殊の物語

晏殊（あんしゅ、991-1055年）は、小さい時から正直者で賢く、7歳になると、すでに立派な文章を書けるようになりました。14歳の時、晏殊は当時の江南安撫使（あんぶし）（※1）の張知白から「神童」と呼ばれ、宋真宗・趙恒（北宋の第三代皇帝）に推薦されました。1005年、晏殊は上京し、14歳で宋代最初の童子として、全国各地から来た3100人の挙人（きょじん）（※2）と同時に試験を受けました。晏殊は本来は直接、皇帝から面接を受けることができましたが、彼はなんとしても科挙の合同試験に参加しよ

うと思いました。「試験を受けて得た成績こそ、自分の本当の実力だ」と彼は考えていたからです。

### 晏殊の才能

試験官は晏殊の要求を受け入れ、他の挙人達と一緒に合同試験に参加させました。試験場での晏殊はとても落ち着いて、質問に素早くかつ適切に答えました。そして宋真宗の称賛を得た彼は、「同進士出身」（※3）という称号を与えられました。

宋真宗は晏殊を引見し、「お前は才能と学識があるだけではない。もっと重要なのは、お前に誠実さと言う素晴

らしい品格があることだ！」と称賛しました。

### 晏殊の誠実さ

晏殊はとても誠実で、しかも、自分の能力を信じていました。宋真宗は晏殊をととても気に入り、破格で彼を翰林（かんりん）※4に任命しました。

晏殊が職に就いた当初、ちょうど天下泰平で、京城の大、小の官吏らはよく郊外に遊びに行ったり、街中の料理屋や茶屋で宴会を開いたりしました。晏殊は家が貧しく、酒食や行楽に使うお金がなく、家で兄弟達と一緒に読書したり、文章を書いたりして過ごしました。

### 太子の家庭教師に

う命じました。呼ばれた王琪は晏殊に挨拶し、2人はしばらく語り合いました。とても意気投合した2人は食事を共にし、食後に庭で散歩しました。ちょうど晩春の時期で、地面に落ちたいっぱいの花びらが風に吹かれて、花卉がひらひら舞い上がり、とても美しい景色でした。

### 王琪との交流

晏殊はその光景を見て心を打たれ、「王先生、私はいい句を思い出すと、いつも壁に書いて、そして次の句を考えるようにしています。実はある詩をすでに数年も温めました。未だに次の句を思い出しません」と言いました。



ある日、宋真宗は、太子の家庭教師を選びたいと言いました。そして大臣の推薦を断り、自ら晏殊を指名しました。大臣達は皆、大変驚きました。宋真宗は「晏殊は宴会に参加もせず、家に閉じこもって読書していると聞いています。彼は正直で温厚で慎重

な人だ。太子の身の回りに置くには最適な人選だ」と言いました。

晏殊は皇帝に謁見して、感謝の意を表しました。そして、「私が遊びや宴会に参加しないのは、貧しくてお金がないからです。お金があれば、私も参加していたと思

ます」と率直に言いました。宋真宗は晏殊が本当に正直者で、彼をより信用するようになり、さらに寵愛しました。

### 晏殊の人材育成

晏殊は誠実で真面目な性格が評価され、皇帝と大臣達の前で自らの信用を勝ち取り、確立しました。宋仁宗・趙禎（北宋の第四代皇帝）が即位してから、晏殊は大いに起用され、宰相まで上りつめました。晏殊は宰相になった後も、気障（きざ）なことをせず、民衆から支持を得ました。

晏殊は長年要職に付いていましたが、気さくで親しみやすく、賢材を登用し、人材の

育成に努めました。晏殊は、知識人に誠実な態度で対応しました。

### 王琪との出会い

ある時、晏殊は揚州を通り、疲れたために随行する人員と大明寺に入って休憩を取りました。寺に入ると、壁には多くの詩が書かれていました。晏殊はとても興味をひかれ、椅子に座り、随行した人員に壁の詩を読んでもらいました。しかし、詩の作者と自分を言わないようにと言いつけました。

しばらく聞いてから、一つの詩をととても気に入り、「誰の詩だ？」と聞き、王琪という人の詩だと分かりました。そこで、王琪を呼んで来るよ

王琪が「どんな句でしょうか？」と聞くと、晏殊は「いかなともすべきなく 花は落（ち）りゆく」と答えました。

王琪はすぐに「『かつて相識りしがごとく、燕は帰り来たる』ではいかがですか？ つまり気温が暖かくなって、かつての知り合いのように燕が南から帰って来るという意味です」と言いました。晏殊はそれを聞くと「見事だ、見事だ」としきりに褒めました。

### 王琪の活躍

晏殊は王琪をととても褒めた。え、京都に帰った後に宋仁宗に推薦しました。宋仁宗の

認可を得て、京城に赴任した王琪は要職を歴任しました。

晏殊が北宋の文壇で輝かしい名声を上げたのは、彼の誠実さと優れた才能と密接な関係があったのです。

※1 安撫使：中国古代の官吏名のこと。中央から地方へ派遣された地方問題を処理する官吏のこと

※2 挙人：唐・宋では進士の試験を受ける者のこと

※3 進士：隋から北宋中期にかけては科挙の六科の一つで、科挙時代の一種の資格の称号

※4 翰林：高名な儒学者・学士のこと

# 写真特集

## 世界各国での活動



①



②



③



④



⑥



⑤



⑦

- ①三重県の大四日市まつりで腰太鼓を演奏
- ②ロシア・ピャチゴルスクで法輪功の功法を上演
- ③7月20日の夜、ワシントンの国立芝生広場で行われたキャンドル追悼会
- ④ブルガリア国営ケーブルテレビの取材を受ける法輪功学習者クレメナ・クルモワさん
- ⑤スロバキア的首都ブラチスラバのパレードで披露した龍の舞
- ⑥サンフランシスコ市でパレード
- ⑦オーストリアの首都ウィーンで署名する市民



### 明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年6月21日に中国語ウェブサイトを立て上げ、2001年7月に日本語版を開設しました。

法輪功について紹介すると同時に、世界各国の活動や、学習者が法輪功を学んだ体験談を掲載しています。

また、世界中（特に中国本土）で独自の情報伝達システムを構築し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国共産党の法輪功への迫害事実を報告しています。

明慧ネット日本語版 <https://jp.minghui.org/>